

エリック・デ・シュッター博士が計算神経学学会会長に就任

この度、OIST代表研究者のエリック・デ・シュッター博士が、[計算神経学学会 \(OCNS\)](#) の会長に就任しました。任期は2010～2012年までの3年間で、2003年に発足したこの非営利組織の舵を握ることになりました。OCNSは、計算論的手法を用いて神経科学分野の未解決問題の解明をめざす科学者たちを様々な側面から支援しています。OCNSが毎年開催する国際計算神経科学会合(CNS)は、脳の情報処理を生物学的に探求する実験および理論の結果を発表する最高位のフォーラム（公開討論会）の役割を担っています。

1959年ベルギー・アントワープ生まれ。アントワープ大学で医学学士号（1980年）と医学博士号（1984年）を取得後、医師として、また神経生理学者として経験を積む。1990～1993年に博士課程修了後の研究先として勤務したカリフォルニア工科大学で脳神経細胞「プルキンエ細胞」の当時最も詳細なコンピュータモデル化に成功する。その後ベルギーでいくつかの研究プロジェクトに従事し、教職を経て、2007年4月に代表研究者としてOISTに着任、計算脳科学ユニットを立ち上げる。



エリック・デシュッター博士